後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	2	総合的な環境対策の推進		
単位施策名称	2	自然と共生する快適環境の推進		
施策の方向性		●自然とふれあえる場や、緑化の推進を図ります。 ●自然と身近に共生できる環境を確保するため、水辺を保全・活用し、四季を通じた憩いと心の環境づくりを推進します。 ●良好な空気・水・土壌が確保されるよう、関係機関と連携した取り組みを行います。		

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	水分峡森林公園の来園者数	人	目標値		45,000	90,000	100,000	110,000	120,000
			実績値	41,267	46,848	84,097	83,110	83,694	62,906
			達成状況		達成	未達成	未達成	未達成	未達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	水分峡森林公園の来園者数は、本格的な利用再開を来年度に控える中、多くの方に来園頂き、目標値を達成することができました。
R4	施策目標は達成できませんでしたが、令和4年度より公園利用を全面再開し、賑わいと活力が戻りました
R5	令和5年度の来園者数は目標未達となりましたが、平成30年7月豪雨災害以前の水準まで回復しています。
R6	施策目標は達成できませんでした。目標達成に向けて、利用者のニーズを踏まえたハード整備とイベントの開催などのソフト事業の両面での取り組みと工夫が必要と考えます。
R7	水分峡森林公園内での事件や近隣にクマが出没したことの影響により、利用者が大幅に減少し、施策目標は達成できませんでした。目標が達成できるように、利用者ニーズを踏まえた施設整備やイベントの開催など、ハード・ソフト両面の取組みが必要と考えます。

・評価及び対応方針

R3	水分峡森林公園は、令和4年4月より利用再開としており、引き続き町民の憩いの森として、適切な維持管理に努めるとともに、平成30年3月に策定した再整備基本計画の事業化に向けて、事業手法や財源の確保策の検討およびボランティア団体との協働を推進します。
R4	豊かな自然環境を保全し、次世代へ継承するため、第2次環境基本計画に基づく施策を推進していきます。
R5	平成30年7月豪雨災害以降、森林の荒廃が顕在化しているため、森林整備と適正管理により、森林の再生を図ります。水分峡森林公園は、公園施設の適正管理に努めるとともに、利用者ニーズを踏まえた再整備・リニューアルについて検討を進めます。
R6	引き続き、森林整備と適正管理を行い、荒廃した森林の再生を目指します。 また、水分峡森林公園利についても、適正管理に努めるとともに、自然と歴史への関心を高めるための体験型イベントの開催について検討を進めます。
R7	引き続き、森林整備と適正管理を行い、荒廃した森林の再生を目指します。 水分峡森林公園については、適正管理に努めるとともに、町内外からの利用促進につながるよう、再整備方針について検討を進めます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	府中の森づくり事業	14,505	8,155	13,214	13,652	14,990	64,516
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		14,505	8,155	13,214	13,652	14,990	64,516

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	府中の森づくり事業	事業番号	322101
担当部署名	町民生活部　　環境課		
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 総合的な環境対策の推進		
単位施策	2 自然と共生する快適環境の推進		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 所有者管理意向調査の準備作業として、調査対象となる民有林の抽出を行いました。 ○ 間伐を1.3ha実施しました。 ○ ドローンによる森林被害等調査を行いました。 ○ 補助金交付等により森林ボランティアの支援を行いました。
R4	○ 森林経営管理制度の対象となる町内の私有人工林は、小規模分散で集積・集約化につながらないため、集積管理意向調査は行いませんでした。 ○ 間伐に代わり、森林整備計画を策定しました。 ○ 森林被害等の報告がなかったため、ドローンによる森林被害等調査は行いませんでした。 ○ 補助金交付等により森林ボランティアの支援を行うとともに、企業との連携・協働による活動を開始しました。
R5	○ ひろしまの森づくり事業を活用し、町有林の整備（間伐・下刈・植栽・簡易工作物の設置）4.2haを実施しました。 ○ 補助金交付等により森林ボランティアの支援を行うとともに、企業との連携・協働による活動を行いました。 ○ 地元企業およびボランティア団体と連携して、ひろしま「山の日」（6/4）に森づくりイベントを開催しました。 ○ ひろしまの森づくり事業と地元企業からの寄付金を活用し、水分峡森林公園みずき広場をデイキャンプ場と活用するための基盤整備（転落防止柵・整地・緑化）を行いました。
R6	○ ひろしまの森づくり事業（特認分）を活用し、町有林の3.5haにおいて、間伐等を行うとともに、登山道沿いに桜の植栽を行うなど景観にも配慮した森林整備を行いました。 ○ 補助金交付等により森林ボランティアの支援を行うとともに、企業との連携・協働による活動を行いました。 ○ ひろしまの森づくり事業（普通交付金）を活用し、令和5年度からデイキャンプ場として整備中の水分峡森林公園みずき広場の整備（進入路としてのスロープ設置・転落防止柵設置）を行いました。
R7	○ ひろしまの森づくり事業を活用し、町有林の整備（除伐・間伐）7.7haを実施しました。 ○ 補助金交付等により森林ボランティアの支援を行うとともに、企業との連携・協働による活動を行いました。 ○ ひろしまの森づくり事業（普通交付金）を活用し、令和5年度からデイキャンプ場として整備中の水分峡森林公園みずき広場の整備（浄化槽等設置）を行いました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	森林ボランティアの人数	人	目標値	230	240	250	260	270
			実績値	107	216	284	253	228
			達成状況	未達成	未達成	達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	府中の森づくりが目的のため、森林ボランティアの人数を指標としました。							

４．コスト情報(決算)

（単位:千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	14,505	0	2,900	0	7,352	4,253
R4	8,155	0	2,764	0	1	5,390
R5	13,214	0	10,700	0	2,400	114
R6	13,652	0	10,700	0	20	2,932
R7	14,990	0	10,700	3,916	118	256
合計	64,516	0	37,764	3,916	9,891	12,945

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	事業目標である森林ボランティアの人数は、コロナ禍の外出自粛等の行動規制の影響により、定期的な活動が行えず、参加人数は107名と目標未達成となりました。
R4	事業目標である森林ボランティアの人数は、目標未達成となりましたが、今年度より森林ボランティア団体と企業との連携・交流の活動を開始しました。
R5	森林ボランティア団体と企業との連携・交流の活動を開始したことにより、活動が活性化し、目標を達成することができました。
R6	森林ボランティア団体と企業との連携・交流の活動等の全体的な活動日数は令和5年度と変わらないものの、各活動日における森林ボランティア参加者数が減少したことにより目標達成には至りませんでした。
R7	森林ボランティア団体と企業との連携・交流の活動等の全体的な活動日数は、昨今の猛暑により、8月、9月の活動を休止したことにより、活動日数が減少し目標達成には至りませんでした。

・評価及び対応方針

R3	令和3年度は、災害復旧工事により中断していた町有林の間伐を4年ぶりに実施するとともに、府中北小学校4年生児童70名を対象に林業体験を行いました。令和4年度は、引き続き町有林の適切な管理に努めるとともに、民有林については森林経営管理制度に基づき所有者意向調査を実施します。
R4	令和5年度より、森林整備計画に基づき、特定財源を活用し、荒廃した森林の再生を図ります。 また、水分峡森林公園は、自然の触れ合う憩いの場として、利用者ニーズを踏まえた再整備・リニューアルについて検討を進めます。
R5	ひろしまの森づくり事業を活用し、町有林の整備を進めます。 水分峡森林公園・みずき広場をデイキャンプ場として活用するため、引き続き整備を進めます。
R6	引き続き、ひろしまの森づくり事業を活用し、町有林の整備を進めます。 また、水分峡森林公園利用促進のため、利用者のニーズの調査や公園の施設マップを活用した、自然と歴史への関心を高めるた体験型イベントの開催について検討します。 また、森林ボランティアに対しては、引き続き活動の支援を行うとともに、取り組みの輪を広げるため、活動内容の紹介、参加者の募集等の情報を発信を行います。
R7	引き続き、ひろしまの森づくり事業を活用し、町有林の整備を進めます。 また、森林ボランティアに対しては、継続して活動支援を行い、町立学校や企業と連携した林業体験等、活動内容を紹介し、さらなる参加者募集等の情報発信を行います。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	事業目標の未達成については、コロナ禍の外出自粛等の外的要因によるものであり致し方ないと考えます。
R4	令和4年度より森林ボランティア団体と企業との連携・交流の活動を開始し、新たな取組みの輪が広がりました。
R5	令和4年度より森林ボランティア団体と企業との連携がスタートしており、ボランティア活動の好例として、これを参考に新たな取組みの輪を広げていきたいと考えます。
R6	目標人数には到達していませんが、森林ボランティア団体と企業との連携・交流の活動等は順調に実施できています。活動の紹介等を広報し、更なる取り組みの輪を広げ地域に愛される森づくりを推進します。
R7	夏場の猛暑等により目標人数には到達していませんが、森林ボランティア団体と企業との連携・交流の活動等は順調に実施できています。今後も活動の紹介等を広報し、更なる取り組みの輪を広げ地域に愛される森づくりを推進します。

・評価及び対応方針

R3	町有林については、引き続き適切に管理することで、自然災害の防止・町民の憩いの森としての活用を図ります。民有林については、令和4年度に実施予定の所有者意向調査の結果を踏まえ、森林経営管理制度に基づく森林環境譲与税の活用策について検討を進めます。
R4	豊かな自然環境を保全し、次世代へ継承するため、第2次環境基本計画に基づく施策を推進していきます。
R5	平成30年7月豪雨災害以降、森林の荒廃が顕在化しているため、森林整備と適正管理により、森林の再生を図ります。水分峡森林公園は、公園施設の適正管理に努めるとともに、利用者ニーズを踏まえた再整備・リニューアルについて検討を進めます。
R6	引き続き、森林整備と適正管理を行い、荒廃した森林の再生を目指します。 また、水分峡森林公園についても、適正管理に努めるとともに、住民の自然とのふれあいを推進するため、体験型イベントの開催等について検討を進めます。
R7	引き続き、ひろしまの森づくり事業を活用し、森林整備と適正管理により、森林の再生を図ります。 また、水分峡森林公園についても、適正管理に努めるとともに林業体験等、住民が自然と触れ合う体験型イベントの開催について検討を進めます。